

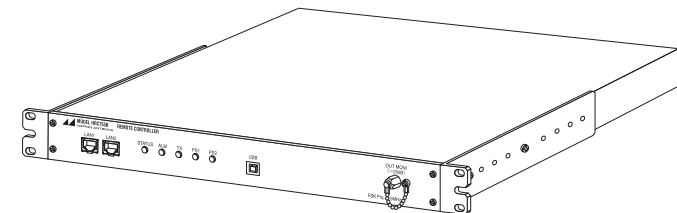
ラックマウント型 遠隔制御装置 Model HRC755B

目次

表紙	説明の始まるページ
〔取扱説明書〕	
取扱上の注意	1
メンテナンス	1
安全上の注意	2
廃棄上の注意	2
特長	3
各部の名称および機能	3
性能規格	4
〔施工説明書〕	
設置場所・条件	5
同軸ケーブルの加工方法とF型接栓の取付方法	5
電源コードの接続方法	6
操作方法	7
電源ユニットの着脱方法	7

このたびは、日本アンテナ製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。工事の際には施工説明書に従って施工をおこなってください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。また、正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「安全上の注意」をごらんください。

取扱説明書



Model
HRC755B

お客様窓口



0570-091039

ご利用時間 9:00~12:00 13:00~17:30 (土・日・祝祭日・弊社休業日を除く)

日本アンテナ株式会社

本社／〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8 ☎(03) 3893-5221 (大代)
(ホームページアドレス) <http://www.nippon-antenna.co.jp/>

※製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。
5106805 平成30年2月

取扱上の注意

取付工事は、専門の施工業者にご依頼ください。

メンテナンス

いつでも美しいテレビ映像をお楽しみいただくために、年に1回は専門業者に保守・点検をご依頼ください。

安全上の注意

絵表示について

この「安全上の注意」、「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになるかたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
絵表示の例		
		△記号は注意（注意・警告・危険を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。
		⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
		●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。）が描かれています。

警告

●ぐらついた台の上や、傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



●万一、本器を落としたり、破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



●表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。また、同軸ケーブル重畳方式にて動作可能な機器は、表示された重畳電圧を供給してください。その際は電源プラグをコンセントから抜いてご使用ください。



●本器の上面カバー（接続端子部カバーは除く）をはずしたり、本器を改造したりしないでください。また、本器の内部には触れないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止

●本器に水が入ったり、本器の内部がぬれたりしないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。



水ぬれ禁止

●電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり（熱器具に近づけたり）引っぱったりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのままご使用になると火災・感電の原因となります。



●万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



●万一、異物が本器の内部に入った場合は、まず、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。（特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。）



注意

●本器の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。また、本器が変形し、火災・感電の原因となることがあります。



●直射日光の当たる所、温室やサンルームなどの温度や湿度の高いところに置かないでください。火災・感電の原因となります。



●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。



●湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所（調理台や加湿器のそば）に置かないでください。また、振動のある場所に置かないでください。火災・感電の原因となります。



●電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



廃棄上の注意

本器のすべて、または部品を廃棄する場合には、自治体の定めた条例にしたがって処理してください。

操作方法

■操作は以下の手順でおこなってください。

①設定をおこなうため、Windows標準ブラウザであるInternet Explorer 11を搭載したPCを本器前面にあるLAN端子（LAN2）とLANケーブルで直接接続します。

- 本器のLAN接続規格は100BASE-TXです。10BASEでは動作しません。1000BASEでは100BASEの速度で動作します。
- 本器の初期IPアドレスは192.168.1.100、サブネットマスク255.255.255.0となっています。PC側のIPアドレスを192.168.1.××（1～254で100以外の任意）、サブネットマスクを255.255.255.0に設定してください。
- オートMDI/MDI-X機能のないPCをご使用の場合は、本器とPCを直接つなぐ場合、クロスケーブルをご使用ください。

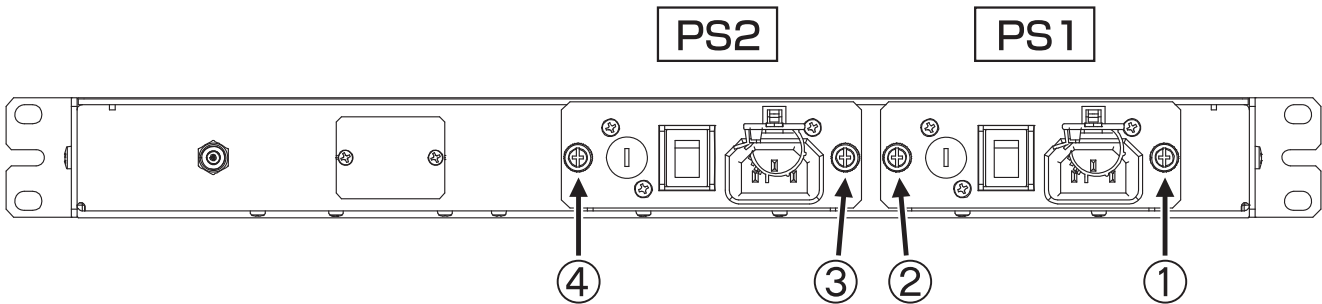
②ブラウザアドレス欄に『http://192.168.1.100』と入力しますと、ログイン画面が表示されます。ブラウザでおこなう設定方法、運用方法につきましては付属CD内の『操作マニュアル』をご覧ください。

ポイント

レベル調整はブラウザ内の『RF出力レベル調整』でおこないます。本器は電文データがない場合でも電源投入直後に110dBμVのFSK変調信号が出力されます。必ずシステムの運用レベルを確認し、レベル調整後に光送信機等へ入力してください。

電源ユニットの着脱方法

本器の電源ユニットは冗長化されており、電源を落とすことなく交換可能なホットスワップに対応しています。電源交換時は以下の手順で交換してください。



PS1のユニットをはずす場合、上図①②のねじ、PS2のユニットをはずす場合、上図③④のねじをはずします。ユニットを挿入する場合は、上記の逆の手順でおこなってください。

●ユニット固定ねじ締付トルク 0.6N・m（約6kgf・cm）

電源コードの接続方法

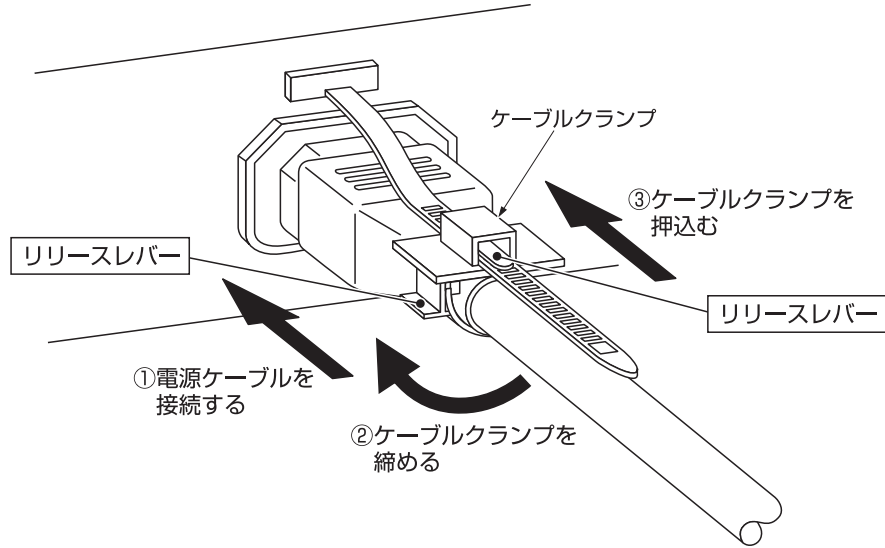
外部からの電源コードの接続は、以下の手順でおこなってください。

- ①電源端子（インレット）は、本体の背面にあります。（各部の名称および機能をご参照ください。）
- ②電源コードを19インチラック内へ引き込み、接続してください。
- ③下図を参照し、電源コードの抜け止め処理をおこなってください。

注意 作業を始める前に必ず供給元電源装置がOFFになっていることをご確認ください。感電の原因になります。

注意 本器には同梱された電源コードセットを使用してください。また、同梱された電源コードセットは、他の製品に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

ポイント 電源コードは、AC100Vインレットにしっかりと押込み、容易に抜けないことを確認した後に、抜け防止処置をおこなってください。押込みが不十分なまま抜け防止処置をおこなうと、電源コード抜けの原因となることがあります。

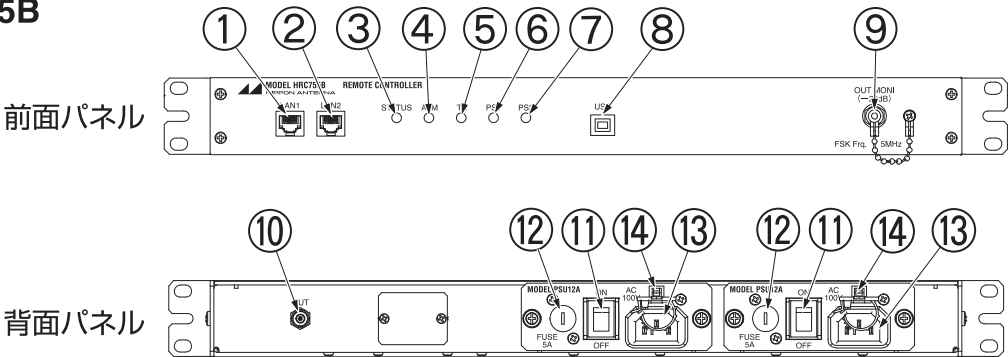


特長

- 1. 遠隔制御対応光受信端末のRF出力を制御することができます。
- 2. 装置にWebサーバ機能を搭載しており、顧客管理ソフトのPCへのインストールが不要です。
- 3. SMS(顧客管理システム)連携モードを搭載しており、FTPによるSMSとの連携が可能です。
- 4. 2系統の冗長電源部はホットスワップ対応で、停波させることなく交換が可能です。

各部の名称および機能

●HRC755B



①	LAN端子 (LAN1)	SMS連携運用の際の専用LAN端子です。
②	LAN端子 (LAN2)	スタンダアローン運用や機器設定、SNMP、NTP用のLAN端子です。
③	ステータスランプ (STATUS)	制御情報の電文送出状態を表示するランプです。 緑点滅:制御情報の電文を送出中【正常時】 消灯:制御情報の電文を送出待機中
④	アラームランプ (ALM)	制御情報の電文送出における警告ランプです。 赤点灯:装置起動後、制御情報の電文データがない又は転送未実施状態 赤点滅:制御情報の転送エラーが発生した際の状態 消灯:電文データが存在し、転送エラーがない状態【正常時】
⑤	送信ランプ (Tx)	送信状態を表示するランプです。 高速点滅:全端末出力(一斉ON)実行中 緑点滅:送信機能がONの状態【正常時】 消灯:送信機能がOFFの状態
⑥	電源アラームランプ (PS1)	冗長電源ユニットPS1の出力電圧(+12V)の状態を表示するランプです。 緑点灯:電圧が9V以上 橙点灯:約7～9V 赤点灯:約7V未満
⑦	電源アラームランプ (PS2)	⑥と同様PS2側の状態表示ランプです。
⑧	USB端子 (USB)	別途ターミナルソフト経由で現在のIPアドレスやアカウント名などを確認する際に接続する端子です。確認方法は付属CD内の『操作マニュアル』をご覧ください。
⑨	出力モニター端子 (MONI.)	保守用としてFSK出力端子に対して20dB低いレベルが出力されています。
⑩	FSK出力端子 (OUT)	75.5MHzのFSK変調された制御信号が出力されています。電文データがない場合でも常に出力されています。
⑪	P.L付き電源スイッチ (ON/OFF)	AC100V電源のON/OFFをおこなうスイッチです。ON時に緑色が点灯します。
⑫	ヒューズ (FUSE 5A)	ヒューズが溶断した場合は、原因を取り除いてから、付属の予備ヒューズと交換してください。
注意 必ず指定されたヒューズ (5A タイムラグヒューズ) をご使用ください。機器故障の原因となります。		
⑬	AC100Vインレット (AC100V)	付属の電源コードを接続します。AC100V以外の電圧は入力しないでください。
注意 専用の電源コード以外は、ご使用にならないでください。機器故障の原因となります。		
⑭	電源コード抜け防止機構	電源コードがAC100Vインレットから抜けるのを防止します。使用方法はP.6の『電源コードの接続方法』をご覧ください。

性能規格

●HRC755B

項 目	性 能	備 考
変調方式	FSK	
符号方式	NRZ	
データ伝送速度 (kbps)	19.2±0.5%	
搬送周波数 (MHz)	75.5	
周波数確度 (ppm)	±50	
占有帯域幅 (kHz)	±250	
定格最大出力レベル (dBμV)	110	
出力レベル調整範囲 (dB)	0～-15	1dBステップ (Webブラウザ)
出力インピーダンス (Ω)	75	C15型F型接栓座
スプリアス (dB)	-60以下	FSK搬送波キャリアに対して
出力VSWR	2.0以下	
出力モニター (dB)	-20±1.5以内	
通信インターフェイス	100BASE-TX	RJ-45
監視機能	SNMP	v1
使用温度範囲 (℃)	0～+40	本体周囲温度
使用湿度範囲 (%)	20～90	結露無きこと
消費電力 (W)	5.5以下	
耐雷性 (kV)	±15 (1.2/50μS)	
電源電圧 (V)	AC100±10 (50/60Hz)	2電源 (冗長構成) ※1
外形寸法 (mm)	44 (H) ×483 (W) ×350 (D)	突起物含まず
質 量 (kg)	約4.0	

※1 保守用電源ユニット H-PSU12

施工説明書

設置場所・条件

- 高温 (40℃以上) の場所、直射日光にあたる場所、有毒ガスなどの発生する場所は避けてください。
- 電気配線、電気工作物の近くや、強い電磁波を受ける場所を避けてください。
- メンテナンスに容易な場所を選定してください。

同軸ケーブルの加工方法とF型接栓の取付方法 (別売品)

◆用意するもの
カッターまたはナイフ、ハサミまたはニッパー、ペンチ、圧着工具。

■各部の名称

① カッター、ナイフなどで点線の部分をカットします。(深さ1mm程度)

② 外被をむき、アルミリングを通しておきます。

③ 外被から2mm程度はなして編組線をていねいに切り落としてください。

④ 編組線をめくり返します。

⑤ 編組線から2mmはなしてアルミ箔、絶縁体を切り、抜きとります。

⑥ 芯線を4～4.5mmにカットし、中心コンタクトを芯線に根元まで挿入してペンチ、圧着工具などで中心コンタクトが抜けないうようにカシメます。

⑦ F型接栓をアルミ箔と編組線の間に挿入し、アルミリングをペンチなどでつまんでしっかりつぶしてください。

●F型接栓締付トルク 2.0N・m (約20kgf・cm)

⚠ 注意 加工の際、切りくずの扱いや工具の使用には十分注意してください。思わぬケガの原因になります。